

ASEAN 経済交流支援拠点

に係る検証結果

平成27年9月

北海道経済部国際経済室

□ 概要

- 我が国の人口は2008年にピークを迎え、その後、減少局面に入ったが、本道においては、全国を上回るスピードで人口減少が進んでおり、地域の経済や暮らしなど様々な分野への影響の拡大が懸念されている。
- こうした中、力強い本道経済を確立するためには、ASEAN等のアジアをはじめとした、海外の成長力を着実に取り込んでいくことが重要であり、道では、道産食品の輸出1千億円、来道外国人観光客300万人といった目標を掲げた。
- こうした目標の達成に向け、域内の人口が6億人を超え、平均年齢も若く、所得水準も上昇を続けるASEANは、最重要ターゲットであることから、このたび、周辺国から富裕層が多数訪れ、ASEANのショーケースと呼ばれるシンガポールに経済交流支援拠点を設置することとし、道が平成20年3月まで設置していた旧北海道シンガポール事務所の成果の検証、新たな拠点において必要な機能の検討を行うため、旧事務所担当者へのヒアリング、道内市町村、関係団体、企業へのアンケート調査等を実施した。